

45年度第4回シグマ研究専門委員会議事録

日時 昭和46年2月19日(金) 11:15~17:50
場所 日本原子力研究所本部第2会議室
出席者 百田光雄(東北大), 飯島俊吾(NAIG)
五十嵐信一(原研), 宇井治生(東北大)
大野善久(原研), 片瀬彬(九大)
桂木学(原研), 塚田甲子男(原研)
中嶋竜三(法大), 長山泰介(原研)
西村和明(原研), 更田豊治郎(原研)
森田敏夫(MAPI), 中川弘(東電, オブザーバー)

配布資料

1. 45年度第3回シグマ研究専門委員会議事録
2. BNLとの交流に関して核データ専門部会連絡会の意見
3. 46年度実行計画案(炉定数専門部会)
4. 46年度実行計画案(核データ専門部会)
5. シグマ研究委員会委員, 核データ専門部会, および炉定数専門部会委員名簿(案)
6. CINDA配布先一覧表
7. NEUDADA

議 事

1. 前回議事録確認

訂正箇所

P 3 27行 30枚核種 → 30数核種

P 4 13行 会の意向 → 本委員会の意向

2. 45年度各専門部会の活動報告

a 炉定数専門部会

(1) Thermal F. P.

作業の最終的なレポートをまとめ、坂田委員が Knoxville 会議で発表する。

(2) Fast F. P.

結果がまだ出ていない。

(3) 炉定数の評価

(4) Mechanical evaluation

(5) 炉定数の作成

UK NDLの'70年版をバイナリーで格納し、ENDF サービスルーチンを整備した。

前回以後
進展なし

b 核データ情報・評価専門部会

(1) 弾性・非弾性

O, Na, Fe, Ni, Cr のデータのプロットを終了した。
Pu, U については計算を始めた。

(2) 重い核

U, Pu の σ_t , σ_c , σ_f , $\bar{\nu}$ の Smooth Part ($10 \sim 100$ keV から 15 MeV) を review し、今年度中にまとめる。

(3) Fast F. P.

- σ_c の系統性を見る作業を進めている。
- σ_c , σ_{inel} , σ_t については Optical parameter search を行なって Parameter を決定した。約 10 核種を

選んで予備的計算を行ないたい。

(4) 熱中性子散乱

。文献のコンピュータインデックスを作る作業はテストプリントがでる段階まで来た。

(5) データ検索システム

。NEUDADAはプログラムの一部が原研のFACOM 230-60で使えるようになった。

。コンピュータ調査報告は年度内に出る予定。

なお、データ検索システムW. G.の目的とした作業は今年度内で一応終了する。今後の方針については次回の専門部会で議論する。

(6) Standard

CCDNからLiの (ν, α) , totalのグラフが送られて来た。最小二乗法等でStandardの値を決めたい。

(7) (n, r)

14 MeVにおける新しいデータが入ったのでこれを考慮して前の結果の改訂版をつくっている。

c. 核データ研究室関係

(1) Carbon

3月中に原稿ができて、発表できる予定である。

(2) NEUDADAのデータプロットング

弾性、非弾性W. G.からの要求で弾性、非弾性のデータのプロットング、また研究室の仕事としてU以上のデータのプロットングをしている。

3. BNLセンターとの交流

前回の委員会で紹介されたPearlsteinの提案に答えるため、原研の桂木委員がBNLへ行くことになった。これに関連して桂木委員に依頼する事項等についての議論がなされた。

4. 46年度実行予算の検討

各専門部会のW. G. 組織と予算の案は次の通り

(1) 炉定数専門部会(部会長・桂木)

- 高速炉用FP炉定数グループ(大竹) ... 140万円
- 炉定数の作成評価グループ(菅原) ... 150万円
- Mechanical evaluation(桂木) ... 60万円

(2) 核データ専門部会(部会長・五十嵐)

従来の核データ情報専門部会と、核データ評価専門部会を統一し、核データ専門部会とする。

- 核データ評価ワーキンググループ(松延) ... 140万円
- 高速炉用FPデータの評価グループ(飯島) ... 140万円
- 核データ検索システムワーキンググループ(更田) ... 70万円
- 熱中性子散乱ワーキンググループ(後藤) ... 0万円

組織については以上の通り承認された。

予算については以上のW. G. の他に

- 研究室の作業(データプロット, Standard) ... 120万円
- 旅費 ... 85万円
- 人件費 ... 65万円
- 会議費, 印刷費 ... 30万円

が提案された。

以上を検討した結果, 各W. G. から10%供出して

- 予備費 ... 70万円

をとっておき, 研究会, 旅費等に保留しておくことになった。

なお, W. G. の開催は各W. G. 年5回を限度とし, それ以上は幹事会にはかることになった。

* NEUDADAを整備して, 評価ずみデータを入れることについての議論があった。

- 測定データと評価ずみデータが一つのファイルに入っていた方

がよい。

- ・使用者によって使う評価済みデータのフォーマットが違い、核データ専門部会は NEUDADA のフォーマットを標準のフォーマットにしたい。

等の意見が出され、一応 NEUDADA に評価済みデータを入れることが承認された。

- * ENDF/B 2nd version のプロットを炉定数専門部会で行うことについて議論があった。

前回の本委員会で承認されたプロットングに対する研究室案と矛盾しているが、重複をさけて炉定数専門部会で作業に必要な部分をプロットすることになった。

5. 評価に対する Request list の作成について

広く、評価に対する Request を求め、塚田・五十嵐委員が担当して、EANDC レポートとして 6 月 1 日までに各国に配ることになった。

6. Nuclear safeguard の核データの Request

次回に、Request を RENDA に入れるべきかどうかを検討する。

7. 46 年度委員および、専門委員候補の検討

- ・専門委員については各専門部会の幹事会に一任する。
- ・シグマ研究委員については資料 5 を次の通り修正する。

森田敏夫 (MAPI) → 菅原 彬 (MAPI) と交替

片瀬 彬 (九大) → 委員を辞める。

川島 協 (動燃) }
小林節雄 (") } → 相談する

坂本正誠 (原研) → 後藤頼男 (原研) と交替

長山泰介 (原研) → 委員を辞める

中村 久 (富士) }
片岡 巖 (MAPI) } → 相談する
官坂駿一 (原研) }

新しく委員をお願いする方

平田実穂（原研），飯島 勉（原研），中川 弘（東電）

松延広幸（住友），大竹 巖（富士），（山室信弘（東工大））

8. COMFORD の件

前回の本委員会で紹介した岡本氏からの手紙に対する質問の返答を受けとった。次回専門委員会で検討し，返答する。

9. CINDA 配布リストの検討

コメントがある委員は，核データ研究室まで連絡する。

10. 4 年報の件

関係各委員の協力をお願いして作成することになった。

11. その他

○東電の中川氏がオブザーバーとしてこの本委員会に出席された。

○次回

○日時 未定

○宿題

1. Nuclear safeguard の核データ Request について

以 上